

大岡コミュニティ歴史講演会 大岡の歴史

大岡の歴史

日 時:令和7年1月19日(日曜日) 時 間: 10:00~

場 所:大岡地区センター 2階大会議室

講 師:明治史料館 主任学芸員 木口 亮 氏

主 催:大岡コミュニティ 教育文化部

参加人数:94名

地域の歴史シリーズは沼津市内の各地域で行われており1回目・戸田地区、2回目・金岡地区、3回目、浮島地区・4回目、大平地区が行われました。

今回は地区センターで行われ多くの方々が訪れ、歴史の関心深さが伺われます。



明治史料館主任学芸員・木口亮氏



平安時代には「大岡庄」という荘園が成立し、「大岡」という地名は、これに由来し、その範囲は現在の大岡より広く、西は愛鷹南麓の青野から東は裾野市大畑辺りまでと、現在の大岡地区を含んでいたと考えられる。前身は古代の牧場で、その後は平頼盛の所領となったが、平氏の滅亡に伴って源頼朝の支配下となり、元暦元年【1184】に平頼盛に返された。

この時の荘司は牧宗親で、その娘が北条時政の後妻となった牧の方。その後は鎌倉時代を通じ、北条家の所領だったと見られる。

明治7年【1874】8ヵ村が合併し、荘園の名前から「大岡村」とした。(初代村長中石田関氏)明治22年【1889】の町村制によって大規模な合併が行われようになったが、それに先駆けて合併した大岡村の人たちには先見性があった。



鳥瞰図・大岡



裾野市葛山氏菩提寺仙年寺・後ろ葛山城址



葛山氏歴代墓所



葛山氏判物

※ 葛山氏広判物 二枚張り合わせたと考えられる。

上・大永4年【1524】正月19日、下・朝比奈信置元龜3年【1572】正月19日

昨年令和6年で、大岡村が成立して150周年、沼津市と合併して80周年と記念すべき年でした。大岡地区では、縄文時代の遺構・遺跡が出土し「柏葉尾遺跡」、弥生時代後期から古墳時代、律令期にかけての集落の遺跡「豆生田遺跡」などがみつかり、古くから人々が生活を営んでいたと考えられます。

大正6年【1917】丹那トンネル開設に伴い東海道本線の新ルートが開設されることとなり、鉄道路線が沼津駅から東1kmの辺りにあった(日吉)塔跡礎石群を分断するため、調査と移動工事が行われた。この寺院跡が奈良時代のものだと鑑定されたが、文献資料がなく寺院名も不明なため、所在地の地名から「日吉廃寺跡」呼ばれている。

7世紀後半から9世紀にかけて存続したとされ 2013 年の市教育委員会の調査では、仏像の頭髮である「螺髪(らはつ)」が出土した。古代初頭において駿河の国の中心が沼津市域あたったと示す重要な遺跡と位置付けられる。

戦時中には、沼津海軍工廠の開設と前後して大岡村にも東京麻糸沼津工場、国産電機、芝浦工作機械、沼津兵器などが進出。工場に通勤する人達のため、御殿場線には仮乗降場が設けられ、これが昭和21年【1946】に大岡駅として開業する。戦時下の昭和19年【1944】4月には国策により、金岡村、片浜村、静浦村と共に沼津市と合併した。

「右側の写真は御殿場線大岡駅(昭和30年頃)

御殿場線の、大岡駅の待合室が正面に見える。その向こうに工場が見えるが、戦争中には「沼津兵器」という会社があり、機関砲を製造していた。工場の裏手には試射場があり、そのあたりまで御殿場線からのSL機関車による引込線があった。



懐かしい大岡駅



上田連合会長挨拶



講演会風景



2階ロビー、パネル展示風景

【企画展】「地域の歴史シリーズ5」大岡

場 所： 沼津市明治史料館 開館時間は午前9時から午後4時半。

開催日：令和6年12月7日(土曜日)～令和7年2月24日(月曜日)

休館日：毎週月曜日(祝日は開館) 祝日の翌日

毎月最終平日 年末年始(12/29～1/3)

観覧料： 大人 200円 小人(小・中学生) 100円

団体(20人以上) 2割引 但し、市内の小・中学生は無料

同じ沼津に中に在っても大岡ならではの歴史が脈々と連なり、様々な資料を通じて、古代から現代への移り変わりを感じられます。

また、大岡地区センター2階ロビーにはパネルが展示してあります。懐かしい思い出の写真・大岡の歴史が分かりやすく展示され何方でも閲覧できます。資料など用意してあります、どうぞご覧下さい。

なお、休館日は、毎週月曜日(祝日の翌日)2月5日まで。